

施設ヒアリング調査の概要

【ヒアリング調査】

調査方法の概要

- 調査対象施設(各施設種別から 1 施設を抽出して、主任からを中心にヒアリング調査。)
 - 母子生活支援施設、救護施設、女性相談センター・一時保護所、一時保護委託先(シェルター)
- 集団面接調査
 - 主任を中心に、可能であれば、施設長やグループリーダーに入ってもらおう。
- 1 グループの人数
 - 2～3 人程度
- 調査対象者
 - 直接援助業務担当者(入所した利用者への援助に直接携わる人)
- 調査時間
 - 90～120分程度
- 調査実施場所
 - 各施設
- 調査実施時期
 - 11月・12月の平日
- 調査実施主体
 - 大阪府福祉部子ども室家庭支援課

インタビューガイド

(1) 直接援助業務全般

1. あなたが対応する利用者への援助業務の内容について教えてください。
2. 利用者への援助業務のなかで、あなたが困難を感じる場面や支援上の課題は、どのようなものですか。
3. それらの場面や課題にはどう対応していますか。

(2) 入所当初の援助について

4. インテークにおいて困難と感じた場面はどのようなものがありましたか。
5. 入所にあたり、利用者に対する援助に関する情報収集において困難と感じた場面、または、課題はどのようなものがありますか。
6. 上記 2 つの質問に関連し、困難と感じた課題についてどのように対応しましたか。また、対応しきれなかった事例があれば、その時の状況及びその後どのようになったか教えてください。
7. (救護施設以外) 同伴者の有無に係る支援上の課題について教えてください。
8. (救護施設以外) 上記の質問について、どのように対応していますか、または、対応できていませんか。
9. (救護施設以外) 上記の質問で対応できていない場合、どのようになれば対応できると考えますか。
10. 利用者の意向(利用目的、支援の方向性等)をどのように把握していますか。また、把握が困難であった事例の経験があれば、教えてください。
11. 上記の質問で把握した意向はどのように支援目標や支援課題に反映させていますか。

(3) 入所中の援助について

12. 支援課題のアセスメントについて、困難と感じた場面はどのようなものがありましたか。
13. 上記の質問について、どのように対応しましたか。また、対応できなかった支援課題について教えてください。
14. また、実施したアセスメントで判明した支援ニーズが施設において提供できる支援内容と異なることはありましたか。
15. 上記の質問で明らかとなった提供できる範囲を超えた支援ニーズについて、どのように対応しましたか。また、対応できませんでしたか。
16. 入所中の援助について、課題を解決するために有効と考えられる方策・関係機関連

携・スーパービジョンなどがあれば教えてください。

(4) 退所に向けた援助について

17. 退所へ向けた支援課題のアセスメントについて、困難と感じた場面はどのようなものがありましたか。
18. 上記の質問について、どのように対応しましたか。また、対応できなかった支援課題について教えてください。
19. また、実施したアセスメントで判明した支援ニーズが施設において提供できる支援内容と異なることはありましたか。
20. 上記の質問で明らかとなった提供できる範囲を超えた支援ニーズについて、どのように対応しましたか。また、対応できませんでしたか。
21. 退所後の支援に向けた他機関との連携について、困難と感じた場面はどのようなものがありましたか。
22. 上記の質問について、どのように対応しましたか。また、対応できなかった支援課題について教えてください。
23. 退所に向けた支援について、課題を解決するために有効と考えられる事柄があれば教えてください。

(5) 女性保護支援全般

24. 女性や母子に関係する相談支援機関（女性相談センター、市町村など）に対するあなたが期待することを教えてください。
25. 女性や母子の支援についてあなたが感じておられることを自由にお話ください。

